



# EV/PHEV用普通充電器 取扱説明書

QEC-F-01

このたびはEV/PHEV用ケーブル付普通充電器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- お読みになったあとは、保証書（本書巻末）を大切に保管してください。



# 本書に関するご注意


---

## 著作権

このマニュアルの著作権は、Kyuden Technosystems Corporationに帰属します。

本書の内容は、Kyuden Technosystems Corporationによる事前承諾なしに、複製、転写、検索システムへ保存することはできず、また、いかなる言語またはコンピューター言語への翻訳はできません。

## 商標および許諾

 およびその他のQ-tecnoの商標はKyuden Technosystems Corporationの登録商標です。本書に記載にされているその他の商標をすべて、それぞれの所有者に帰属します。

## 注意




本文書に記載されている製品、サービスおよび機能の全体または一部は、購入範囲もしくは使用範囲に含まれない場合があります。契約で別途許諾している場合を除き、本文書内の記述、情報、推奨事項はすべて明示的または暗黙的ないかなる保証も約束も行いません。

本書の製品写真や情報などの説明は参照のみを目的として提供されるもので、予告なく変更される場合があります。Q-tecnoは、お客様に通知することなく、いつでも変更する権利を留保します。

本書に掲載されている画像はイメージであり、製品モデルによって異なる場合があります。

## マークの表記

本書では、誤った取り扱いをすると生じる危険や損害の程度を区分して、以下のように表示します。

マーク	説明
 危険！	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告！	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意！	「軽傷を負うことや、財産的損害が発生するおそれがある内容」です。
推奨	製品を最適に操作するための推奨事項が記載されています。

# 目次

---

1	安全上のご注意	
1.1	注意事項	1
1.2	使用上のご注意	2
2	製品一覧	
2.1	システム概要	4
2.2	外形寸法	4
2.3	外観	5
2.3.1	表示パネル	6
2.3.2	ラベル記号の説明	7
2.4	製品特徴	7
3	設置前の準備	
3.1	設置場所の選択	8
3.1.1	設置環境	8
3.1.2	設置場所	9
3.1.3	設置スペース	9
3.2	設置用工具	10
3.3	現地調達品	11
4	開梱と検査	
4.1	開梱	12
4.2	同梱品	13
5	設置と配線	
5.1	適用シーン選択	15
5.2	設置と配線の手順	17
6	試運転	
6.1	起動前の確認	29
6.2	起動	29
7	SolaX Cloudアプリの登録	
8	EV充電器のアプリ設定	
8.1	充電状態	32
8.2	Home（個人用）の充電モード	32
8.3	Home（個人用）の充電機能	35
8.4	基本情報	38

8.5	充電器の設定.....	38
8.5.1	起動方法.....	38
8.5.2	スマート動的負荷分散*.....	40
8.5.3	Modbus設定.....	40
8.6	詳細設定.....	41
8.6.1	適用シーン.....	41
8.6.2	電圧範囲設定（アラーム設定）.....	41
8.6.3	設定復元とリセット.....	42
9	こんな時は	
9.1	保管.....	43
9.2	電源を切る.....	43
9.3	トラブルシューティング.....	43
10	廃棄	
10.1	製品の分解.....	47
10.2	梱包.....	47
10.3	廃棄.....	47
11	仕様	

# 1 安全上のご注意

---

## 1.1 注意事項

本製品は安全性を十分に配慮して設計されておりますが誤った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になる可能性があるため危険です。事故を防ぐためにご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、本書に記載されている安全上の注意事項は、現地の法律および規制を補足するものにはすぎません。

本製品は、適切に保管、輸送、取扱いをする必要があります。次のいずれかに該当する場合（以下を含むがこれらに限らず）には、当社は保証および補償いたしません：

- 地震、洪水、雷雨、落雷、火災、火山噴火など不可抗力で起きた故障、破損、損壊、不具合など。
- 人為的な原因で生じた損害。
- 法律に反するお取り扱いによって発生した故障の場合。
- 説明書などの注意書きに記載の使用方法および注意に反するお取り扱いによって発生した故障の場合。
- 本製品設計時の想定環境を超える周辺環境との不適合、不適切な電気条件により生じた故障、損害、不具合。
- 当社の許可なしに製品を変更、改造、分解を行う場合。
- お客様による輸送中の製品破損。
- 「電気工事士」の資格をお持ちでない方が設置、試運転を行う場合。

※ 本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。

## 1.2 使用上のご注意

### 危険！

- EV充電器は高電圧が発生しております。感電による死亡または致命的な重傷に至る恐れがあります。
- 当社の許可なく筐体を開けないでください。感電による致命的な危険または重傷につながる可能性があります。また保証の対象外となります。
- 延長コードを使用しないでください。火災や感電の危険があります。
- 製品の欠陥、異常や不具合があれば直ちに使用を中止してください。
- 保守やお手入れはなどを始める前は、必ず電源を停止した後、ケーブルを取り外してください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 製品の分解・改造はしないでください。
- 製品を布などで覆わないでください。
- 充電中以外は車両に充電用コネクタを差し込んだまま放置しないでください。
- 充電コネクタ用ホルダにケーブルを巻き付けたまま充電しないでください。
- 製品の上に乗ったり、もたれかからないでください。
- 充電用コネクタに落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えないでください。
- 充電用コネクタを振り回さないでください。
- 充電用コネクタを抜くときには強引に引っ張らないでください。
- 施工工事店以外は、取付・交換作業を行わないでください。

### 警告！

- 可燃物や爆発物の近くに設置しないでください。火災の恐れがあります。
- 腐食性物質に触れる場所や湿気が多い場所に設置しないでください。
- EV充電器はEV/PHEVの充電用途以外で使用しないでください。
- 緊急事態が発生した場合、直ちに製品側面の非常停止ボタンを押して、すべての電源を遮断してください。
- 充電中は、電気自動車は走行できません。電気自動車が静止しているときのみ充電できます。ハイブリッド車の場合、エンジンを切ったあと充電できます。
- 電源プラグ先端の金属部分に触れないでください。  
高電圧による感電の原因になります。
- 充電用コネクタや充電ケーブルが割れたり、欠けたりしているなどの異常がある場合には直ちに使用を中止してください。
- 充電用コネクタは確実に奥まで挿し込んでください。



 注意！

- お子様の手の届かない場所にご保管ください。
- 運転中、EV充電器表面を触れないでください。表面が高温になり、やけどの恐れがあります。
- 充電器を長時間利用した場合は、機器が放熱するまで時間をおいてください。
- 誤った取扱いはまたは誤用により、次の結果が生じる可能性があります：  
使用者または第三者加害  
製品およびその他の財産への損害  
製品の性能の低下。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーおよび、埋め込み型除細動器（ICD）をお使いの方は、充電中は密着した姿勢を取らないでください。充電器本体部からの電波が装置に影響を与えるおそれがあります。

推奨

- すべての作業は、法律および規制を遵守してください。
- お手入れの際は洗浄剤を使用しないでください。清潔な乾いた布でホコリや汚れを拭いてください。
- 製品に貼付されているラベル類を剥がしたり汚したりしないでください。
- ラベル類が剥がれたり汚れたりした場合で、ラベル類が読めなくなった場合は、使用中または、販売店に連絡してラベル類の貼り換え等を行ってください。

## 2 製品一覧

### 2.1 システム概要

QEC-F-01はAC充電器であり、電気自動車の充電のみを目的としています。固定された場所に設置し、AC電源に接続する必要があります。EV充電器は他のデバイスやシステム（パワーコンディショナー、RS485デバイス、CT、第三者の充電器管理プラットフォームなど）と通信し、充電プロセスのインテリジェント制御を実現できます。

QEC-F-01は「Home（個人用）」、「Standard（業務用）」「OCPP」<sup>\*</sup>の適用シーンがあります。

<sup>\*</sup>「OCPP」は将来用として、機能を持たせております。

Home（個人用）では自宅で車の充電ができます。SolaX社製のパワーコンディショナーと連携し、さまざまな充電モードが利用できます。

Standard（業務用）ではオフィス、ホテル、コミュニティの駐車場などの公共駐車場で使用されます。DataHub（オプション）と接続することにより複数台の充電器の電力使用量を制御することが可能です。DataHubと充電器を接続する際はRS485回線を直列に配線します。

### 2.2 外形寸法

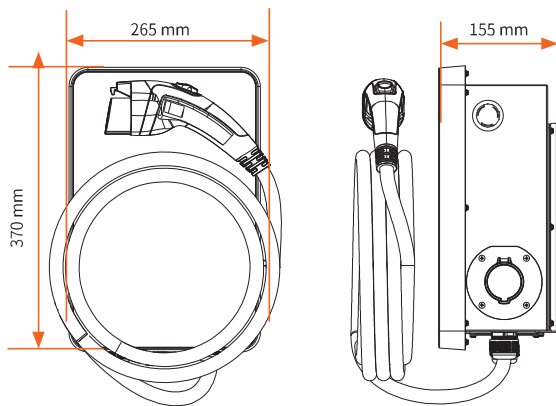


図 2-1 外形寸法

## 2.3 外観

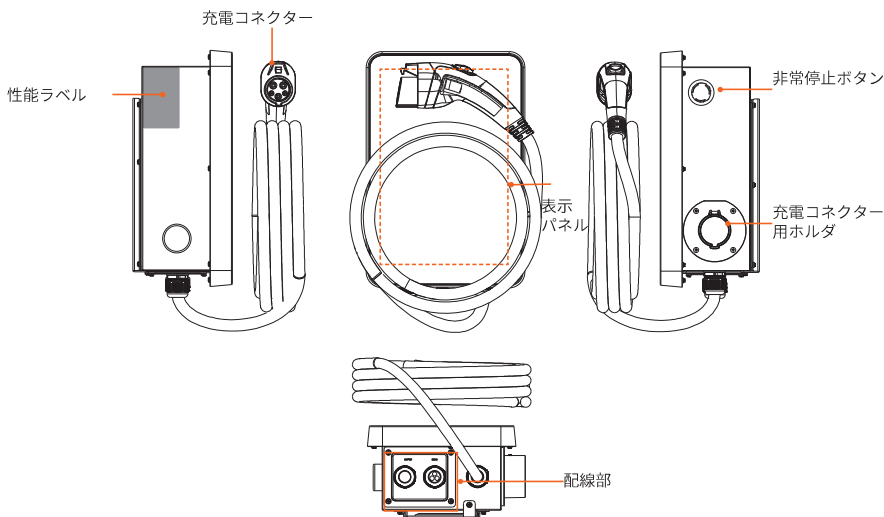


図 2-2 外観図各部の説明

名前	説明
性能ラベル	性能ラベルには、製品の型式、シリアル番号、仕様、認証などが明記されています。
表示パネル	LED、カードリーダーを含みます。 LEDはEV充電器の動作状態を示します。 カードリーダーは認証カード読取部です。
非常停止ボタン	緊急時ボタンを押すと、EV充電器の充電が停止になります。
充電コネクタ用ホルダ	充電しない時、充電コネクタを置く位置です。
配線部	電源線接続端子（AC入力用）と通信ケーブル接続端子（通信用）があります。
充電コネクタ	EV接続用充電コネクタ

### 2.3.1 表示パネル

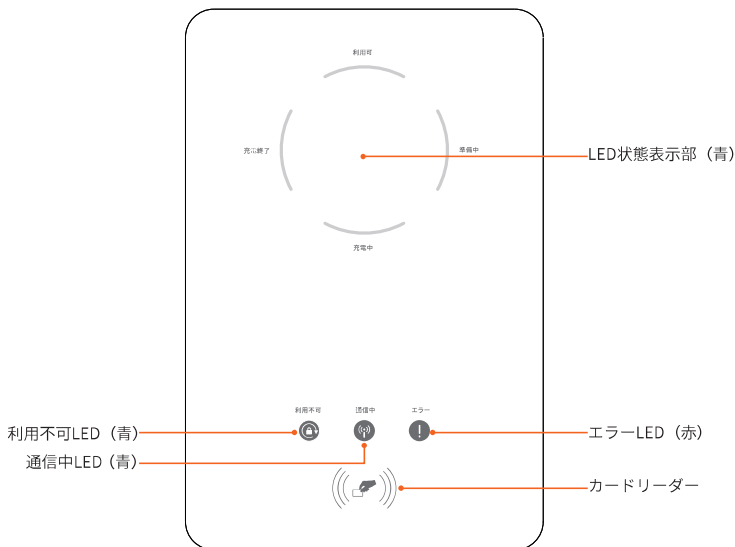


図 2-3 表示パネル





- 正常な状態では、充電コネクタが車充電ポートに挿し込まれていない場合、「利用可」LED（青）が点灯し、差し込まれると「準備中」LED（青）が点灯します。
- エラー状態になると、エラーLED（赤）が赤色に点灯します。モニタリングアプリでエラーメッセージを確認し、[9.3 トラブルシューティング](#)の対策を参照してください。

表2-1 表示パネルの説明

名前	説明
LED状態表示部（青）	利用可、準備中、充電中、充電終了の状態を表示します。
利用不可LED（青）	EV充電器が利用できません。充電コネクタを車に接続しても充電できない時に点灯します。
通信中LED（青）	ネットワークサーバーと通信している時に点灯します。
エラーLED（赤）	異常発生時に点灯します。
カードリーダー	認証カード読み取り部です。

## 2.3.2 ラベル記号の説明

表2-2 ラベル記号の説明

記号	説明
	警告！ 感電の恐れがあります。
	警告！ 危険発生の恐れがあります。
	本製品はリサイクルできます。
	本製品は、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。廃棄の際は、環境に配慮した方法で処理する必要があります。お買い上げの販売店または所在地域に認可された処理施設に依頼してください。

注: デバイス上の実際の記号に従ってください。

## 2.4 製品特徴

EV充電器は以下の特徴があります。

- SAE J1772 Type 1 プラグ・ケーブル (PSE 認証取得)
- 電流障害監視機能実装 (30mA AC 100ms)
- TLSによる暗号化通信
- 室内・屋外の簡単設置
- スマートEV充電器とSolaX/パワーコンディショナー間の通信により、インテリジェントな太陽光発電、蓄電、EV充電エネルギーシステムを形成します。
- 太陽光発電による100%グリーンエネルギーを利用した充電 (グリーンモード)
- RFIDカードによる認証機能
- ウェブサイトによる遠隔設定と監視
- スマート動的負荷分散制御 (CT取付が必要)
- 時間帯設定によるピークカット
- OCPP1.6 (JSON) 通信可能
- 複数台制御システム (DataHub (オプション) と組み合わせることで、デマンド制御や優先充電が可能)
- アプリによる課金決済機能

## 3 設置前の準備

### 3.1 設置場所の選択

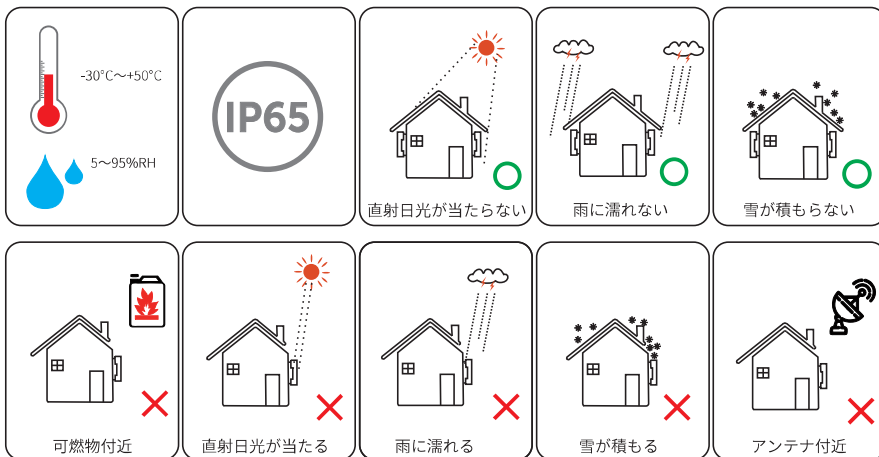
設置場所の選定は、安全性、耐用年数、性能を保証する上で非常に重要です。

- 本製品は、防塵防水レベルIP65で、屋外でも設置可能です。屋外設置の場合、日除けを設置するなどして、製品を直射日光や湿気にさらさないでください。
- 電気接続、使用、保守に便利なところを選択してください。

#### 3.1.1 設置環境

以下の場所には取り付けないでください

- 使用温度範囲外の所:  $-30^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$
- 使用湿度5-95%外の所
- 標高2000 mを超える所
- 換気の悪い場所
- 近くに可燃物や引火物がある所、爆発の可能性がある所
- 近くにテレビのアンテナやアンテナケーブルがある所
- 腐食性ガスや液体に触れる場所
- 直射日光の当たる場所、雨に濡れる場所、積雪の恐れのある場所。



### 3.1.2 設置場所

取り付け位置は製品の重量と寸法に適しており、取り付け用の支持面は不燃性の材料で作られている必要があります。壁面/スタンド建材材について、以下の条件を満たす必要があります。

- 頑丈なコンクリート、または同等強度の取り付け面
- 壁の強度が十分でない場合（木製の壁、厚い装飾層など）、補強する必要があります。

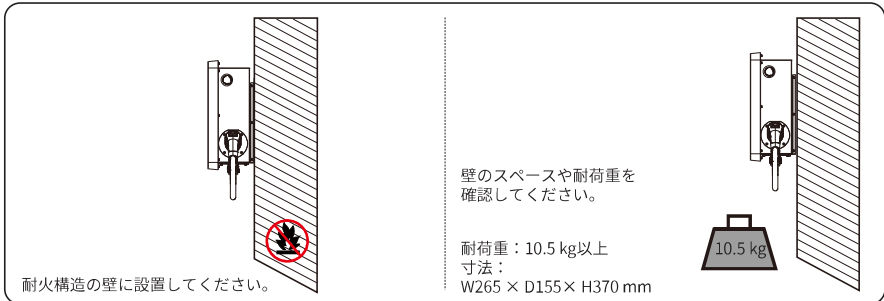


図3-1 設置キャリア

EV充電器は壁掛け以外、専用自立スタンドもご用意しています（別売）。  
取付方法はポール取付ガイドを参考してください。

### 3.1.3 設置スペース

放熱や施工しやすいために、本製品の設置スペースは以下に示す基準を満たす必要があります。周囲温度が高い地域では、設置スペースを増やし、風通しをよくしてください。

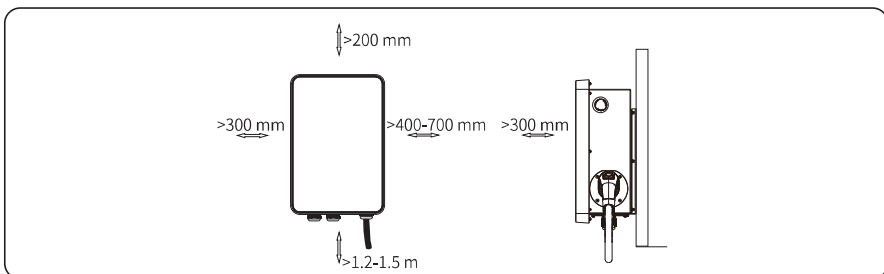
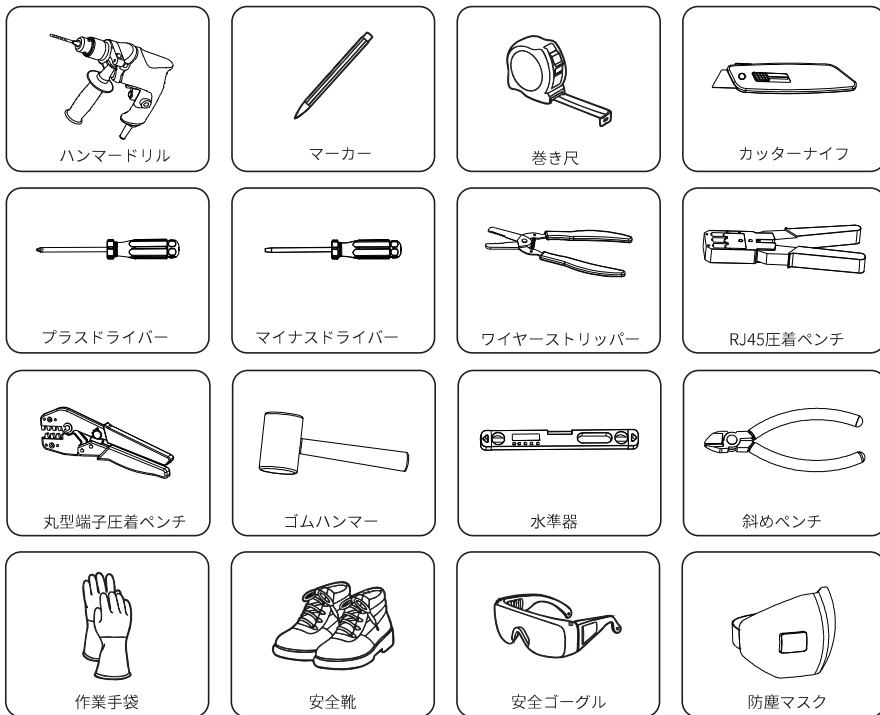


図 3-2 設置スペース

### 3.2 設置用工具

設置用工具には、下記を推奨しておりますが、必要に応じて、現場で他の補助工具を準備してください。





### 3.3 現地調達品

表 3-1 現地調達品

No.	必要部品	仕様
1	漏電ブレーカー (漏電遮断器)※	電源電圧：単相 200V 定格電流：40A 感度電流：30mA 動作速度：0.1s (高速型)
2	電源線・接地線	3芯銅線、外径：12.5～18mm 導体サイズ：5.5SQ×3 または 8SQ×3
3	LANケーブル	Cat5e以上のシールドケーブル ストレート結線タイプ 
4	RJ45端子	/

※ 分電盤に漏電ブレーカーを設置してください。  
配線工事は漏電ブレーカーを切ってください。

## 4 開梱と検査

### 4.1 開梱

- EV充電器は、出荷される前に検査を受けていますが、輸送上の損傷が発生する可能性があります。EV充電器を開梱する前に、梱包材に亀裂などの破損がないことを確認してください。
- 下図の通り、EV充電器を取り出してください。

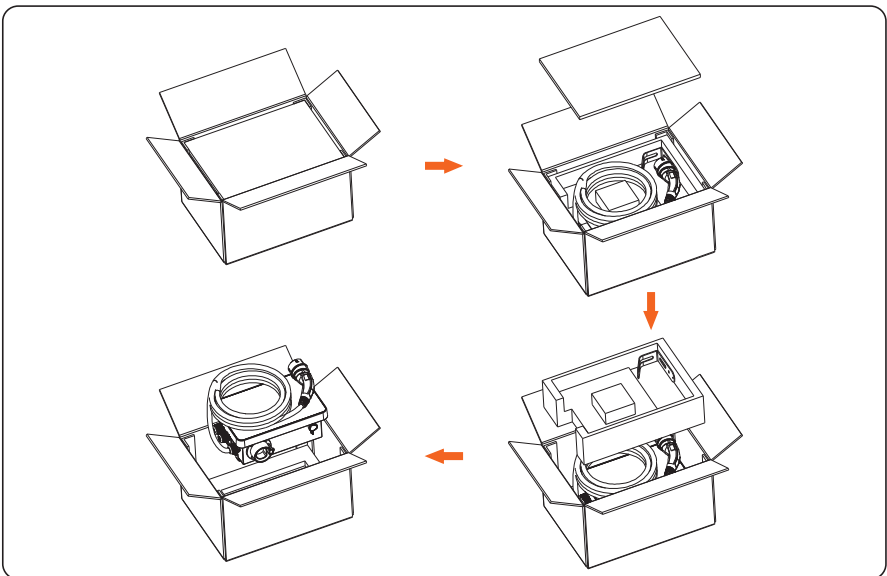
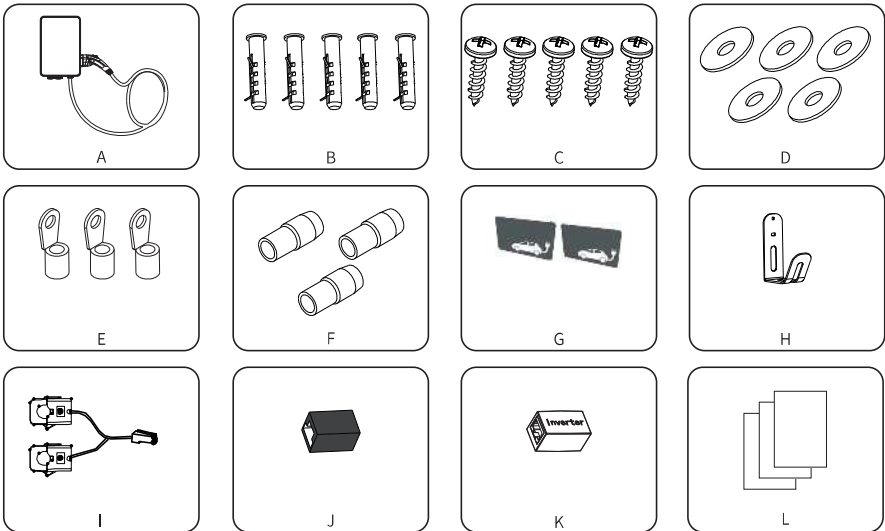


図 4-3 開梱

- 梱包箱をEV充電器の保管や移設のために再利用する場合は、取扱いに注意してください。
- EV充電器の外観に破損、部品の不足を発見した場合は、販売店にご連絡ください。

## 4.2 同梱品



記号	名前	用途	数量
A	EV充電器	電気自動車EV・PHEV充電用設備	1
B	プラグボルト	EV充電器取付固定用	5
C	タッピングねじ		5
D	ワッシャー		5
E	丸型端子		L1/L2/アース線接続用
F	絶縁キャップ	3	
G	RFIDカード	充電を開始・停止用 ※ご利用の前にRFIDカードを認証してください。	2
H	ケーブルフック	充電ケーブル巻き付け用	1
I	CT	系統側入力の電流検出用	2
J	RJ45 アダプタ (黒)	CT延長ケーブル接続用	1
K	パワーコンディショナー アダプタ (白)	パワーコンディショナー延長ケーブル接続用 ※パワーコンディショナーと合わせて使用してください。	1
L	取扱説明書 (本書)	充電器の設置・取扱の説明用	1

## 5 設置と配線

### 警告！

- 設置は「電気工事士」の有資格者が行ってください。また法律や規制に従って行ってください。
- 感電や損傷を防ぐため、壁に穴を開ける際は電線や水道管の位置を避けてください。

### 注意！

- 製品の重量に注意してください。  
適切な取り扱いをしないと、人身事故の原因となります。
- 保護具を着用の上、絶縁工具をご使用ください。

### 推奨

- 本体を逆にし、または倒した状態で使用しないでください。  
設置傾斜角度を $5^{\circ}$ 以下にしてください。

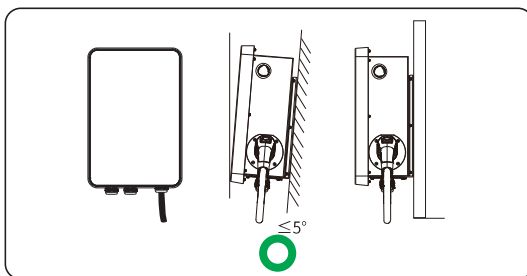


図5-1 良い例

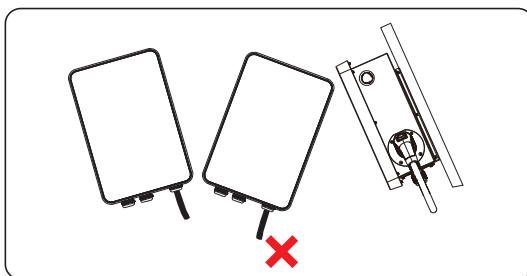


図5-2 悪い例

## 5.1 適用シーン選択

EV充電器の通信接続は使用シーンによって異なります。設置前に適用シーンをお決めください。

### Home (個人用)

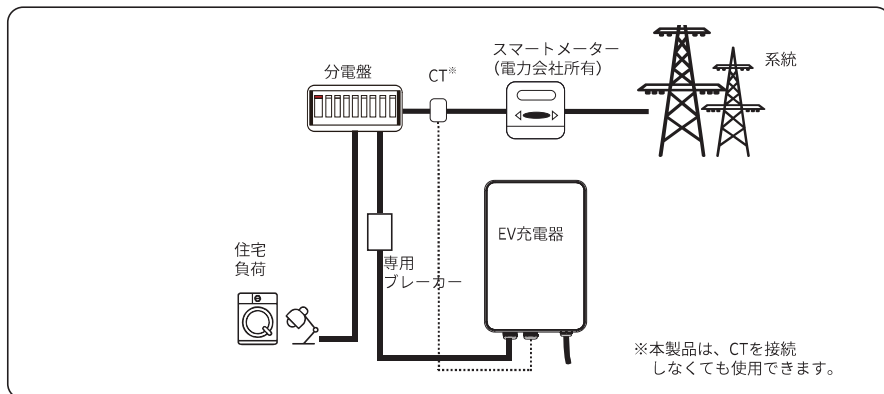


図 5-3 Home (個人用) システム構成 (CT接続)

### パワーコンディショナーとの接続

本製品は、SolaX社製のパワーコンディショナーと連携し、より最適な太陽光発電、蓄電、EV充電エネルギーシステムを形成できます。パワーコンディショナーとの通信により、本製品は電力系統と太陽光発電の電流情報を取得し、本製品をスマート制御することが可能となります。

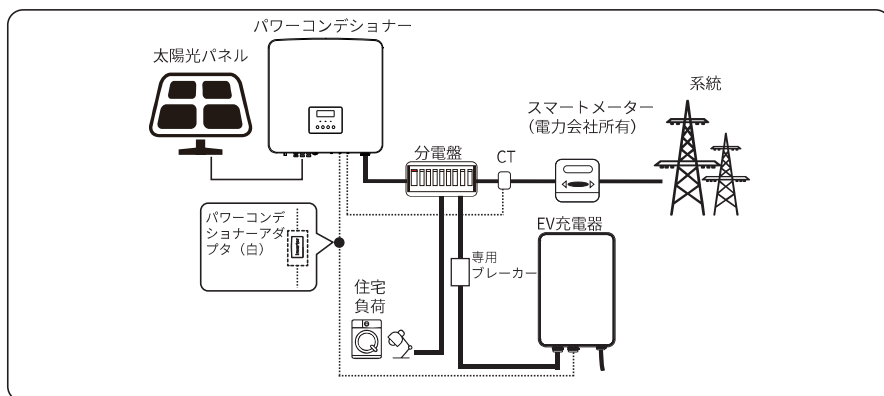


図 5-4 Home (個人用) システム構成 (パワーコンディショナー接続)



注意！

- パワーコンディショナーと接続の場合、正常に動作するために、必ずパワーコンディショナーアダプタ（白）を使用してください（詳細は[5.2 設置と配線の手順](#)参照）。

### Standard（業務用）シーン

本製品は、DataHub（オプション）と接続することにより、EV充電器を複数台制御することが可能です。

DataHubと連携する際のシステム構成はDataHub取扱説明書を参照ください。

## 5.2 設置と配線の手順



**警告！**

- 電気接続の前にすべての電源を切ってください。電源が入ると感電の恐れがあります。
- すべての電気接続は、法律に従い、有資格者が行ってください。

Step 1: プラスドライバーでEV充電器ブラケットのねじを外し、ブラケットを取り外します。

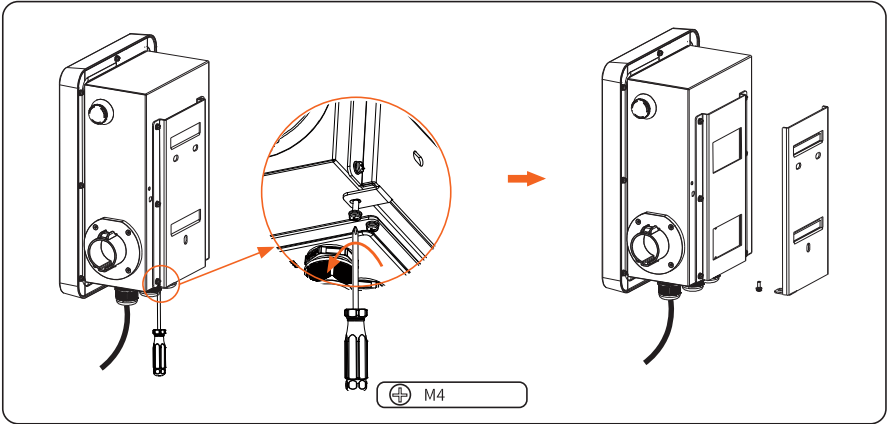


図 5-5 ブラケット取り外し

Step 2: 壁にブラケットとケーブルフックを固定します。

- ① ブラケットを壁に引っかけて、取付位置をマーキングします。

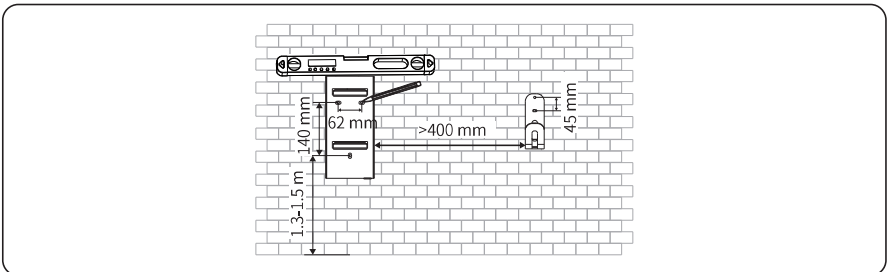


図 5-6 下穴をマークする

### 推奨

- 水準器を使用し、水平となるように壁掛け金具を取付けてください。

- ② マーキングした位置にφ8ドリルで、深さ45mm以上の穴を開けます。

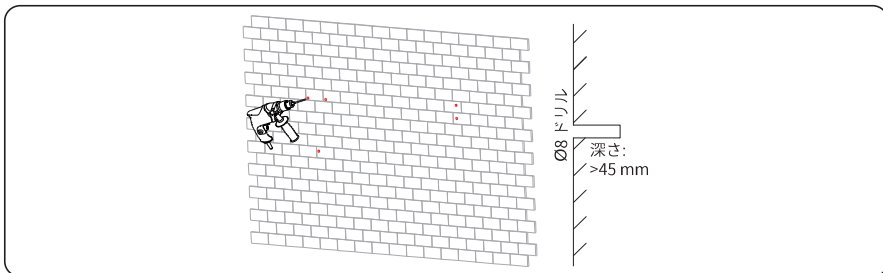


図 5-7 下穴を開ける

- ③ プラグボルトを挿入します。

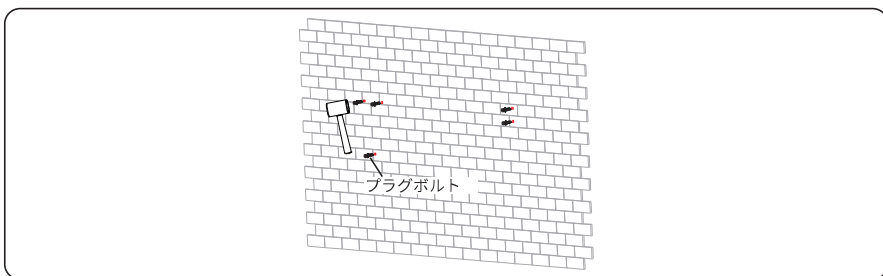


図 5-8 プラグボルト挿入

- ④ ブラケットとケーブルフックは穴に合わせて壁に引っ掛けます。次にプラスドライバーでタッピングねじを締めます。

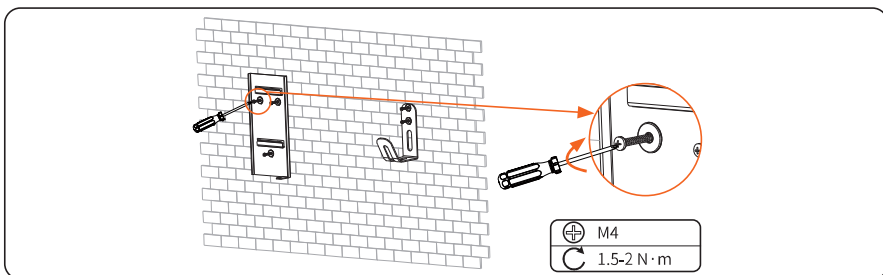


図 5-9 ブラケットとケーブルフック固定

Step 3: EV充電器を壁に仮掛けて、必要な電線ケーブルと通信ケーブルの長さを確認します。その後下ろします。



Step 4: プラスドライバーでEV充電器底部のねじを取り外して、保護カバーを外します。次に、ケーブルグランドを図のように分解します。

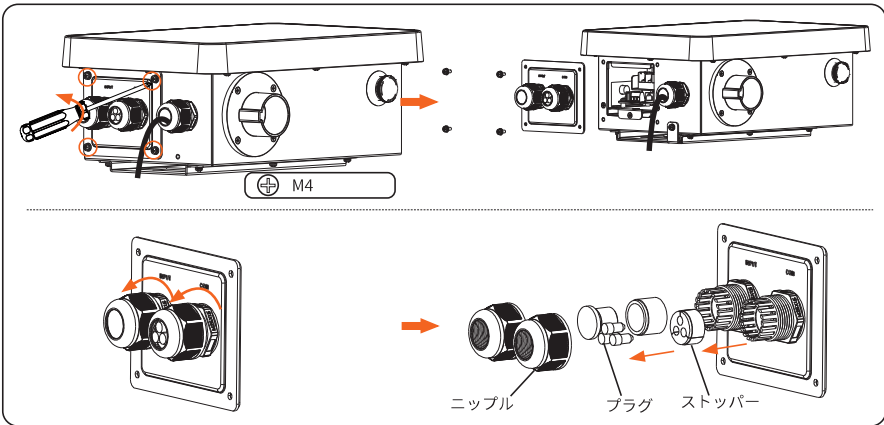


図 5-10 防水カバー、ケーブルグランド外し

Step 5: プラスドライバーで端子台の皿ネジを外して、端子台を引き出します。

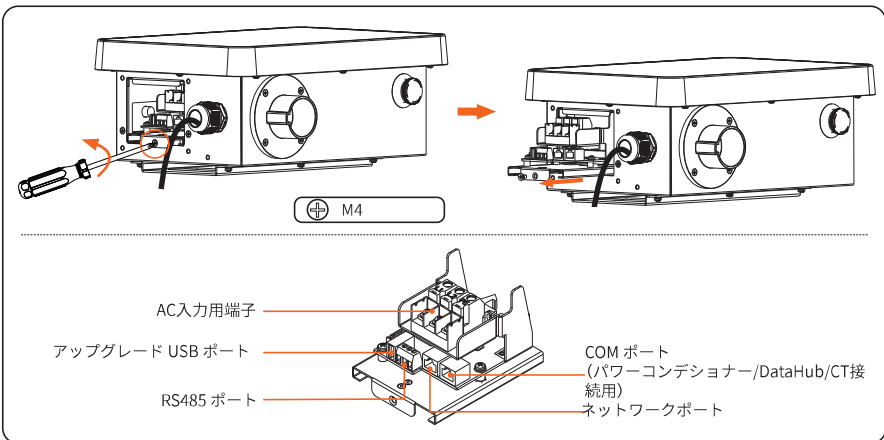


図 5-11 端子台引き出し

Step 6: 電源線の組立と接続

- ① ワイヤーストリッパーで電源線の先端被覆を12mm剥ぎ取ります。

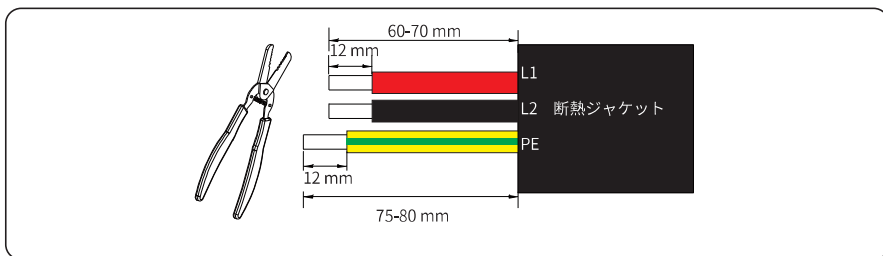


図 5-12 電源線先端被覆

- ② 絶縁キャップを電源ケーブルに通し、丸型圧着端子を圧着ペンチで圧着します。圧着後は「導体が圧着部を貫通していること」「端子を手で引っ張って抜けないこと」を確認し、必ず絶縁キャップを圧着部にかぶせます。

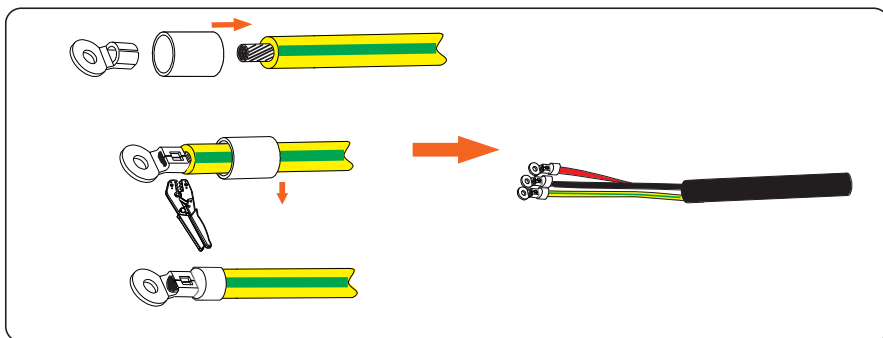


図 5-13 裸圧着端子の圧着

Step 7: 実際のシーンに合わせて通信ケーブルを選択します

- CTまたはネットワーク接続用通信ケーブル  
自作ケーブルの場合は、RJ45端子のピン配列に注意し、配線がRJ45端子にしっかりと圧着されていることを確認してください。

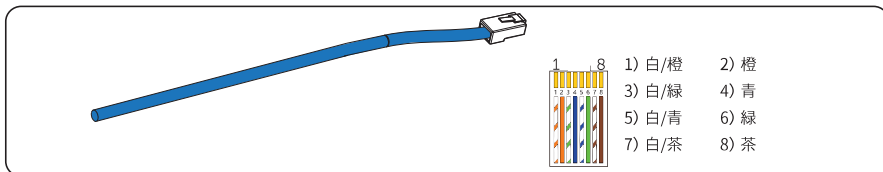


図 5-14 CTまたはネットワーク接続用通信ケーブル

- パワーコンディショナー接続用2芯通信ケーブル

通信ケーブルの被覆を 15 mm 剥き取り、剥いた部分を RJ45 端子のピン 4 と 5 に挿入し、RJ45 用の圧着工具で RJ45 端子を圧着します。

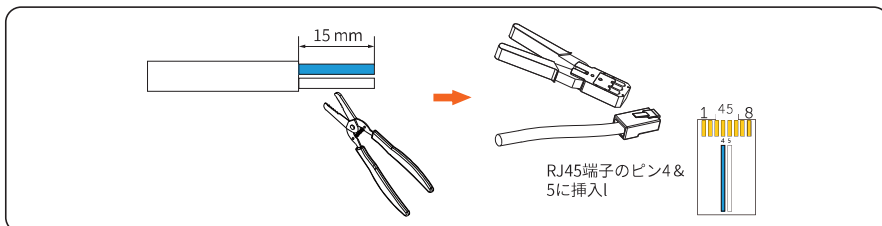


図 5-15 パワーコンディショナー接続用2芯通信ケーブル

Step 8: 電源線を下図の順で保護カバーのINPUT引き込み穴から入線させます。

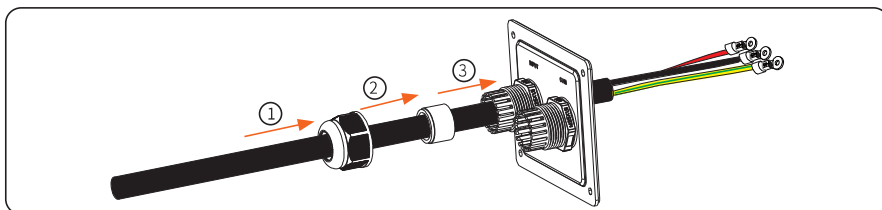


図 5-16 電源線入線

Step 9: 通信ケーブルを下図の順番で保護カバーのCOM引き込み穴に通します。プラグは未使用のストッパーの穴に挿します。以下、特に指定のない限り、CT接続用通信ケーブルを例に説明します。

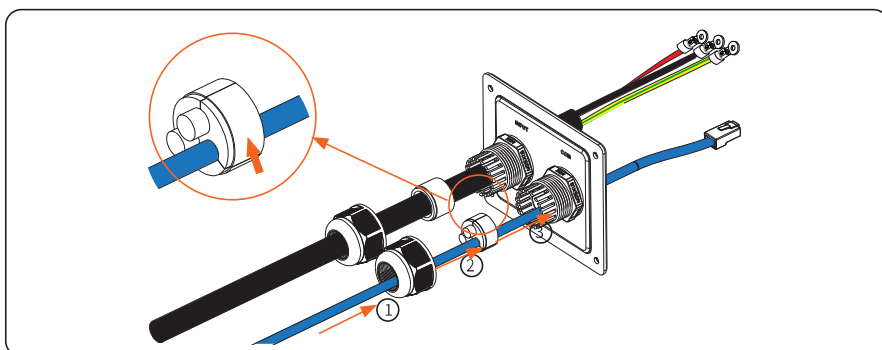


図 5-17 通信ケーブル入線

Step 10: 電線ケーブルをAC入力用端子に接続します。プラスドライバーで端子を締めます。

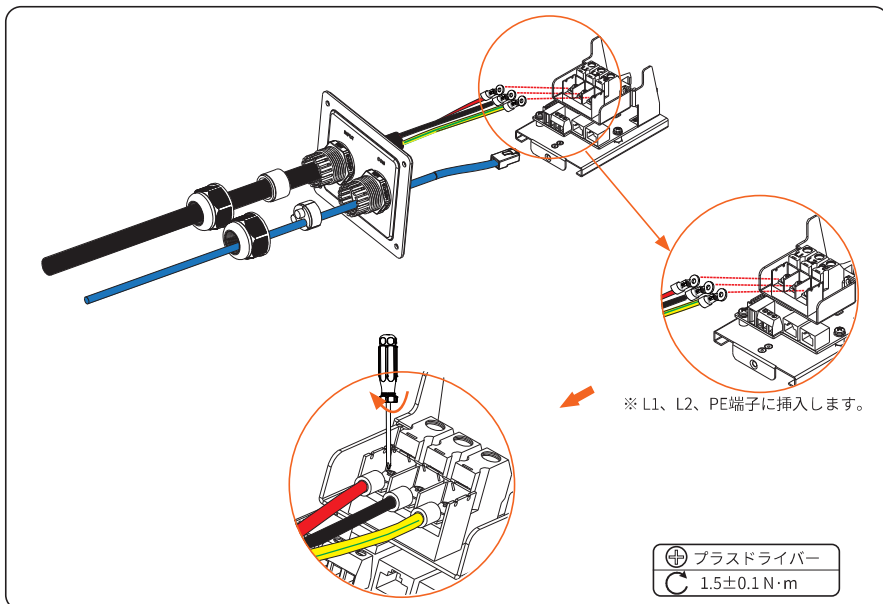


図 5-18 電源線接続

Step 11: 通信ケーブルを対応する通信ポートに接続します。

信号名

- COM (パワーコンディショナー/DataHub/CT接続用) 信号名

表 5-1 COM (パワーコンディショナー/DataHub/CT接続用) 信号名

ピン	1	2	3	4	5	6	7	8
信号名	L1_CT+	L1_CT-		A1	B1		L2_CT+	L2_CT-

※ ピン 4 & 5 はパワーコンディショナー接続用。

**注意!**

- パワーコンディショナーと接続する際は、必ずパワーコンディショナー アダプタ (白) を使用してください。

接続方法

適用シーンに合わせて通信ケーブルを対応する通信ポートに接続してください。

- CT と接続の場合  
COMポートに挿入します。

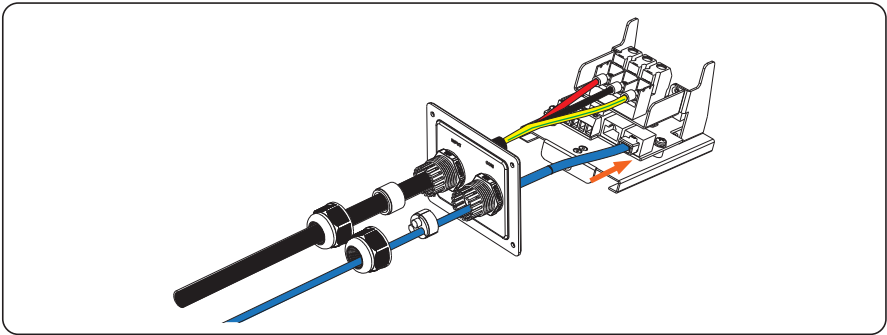


図 5-19 通信ケーブルをCOMポートに挿入する

- » CTを系統側の位置に取り付けます。

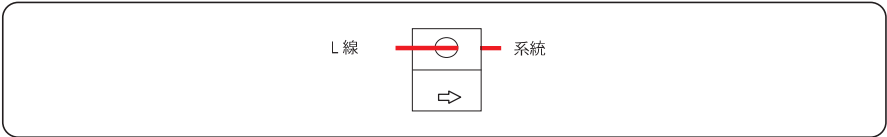


図 5-20 CT側接続

**注意！**

- CTのクランプ部の極性矢印が示す方向が系統側となるように取り付けます。
- CTをN/PE電源線に設置しないでください。
- CTをN線とL線に同時に設置しないでください。
- 非絶縁電線上にCTを配置しないでください。

※ CT接続延長ケーブルが必要な場合、CTは接続延長ケーブルとRJ45アダプタを使用してEV充電器に接続します。

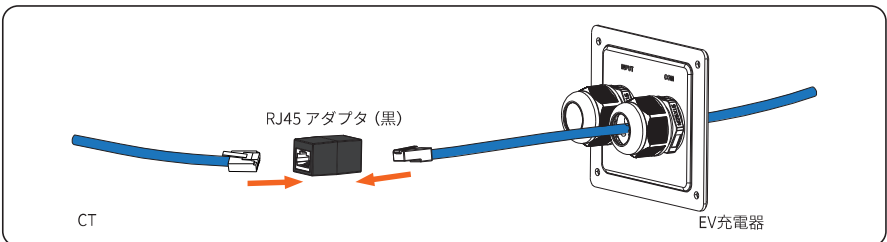


図 5-21 RJ45 アダプタ (黒) 接続

- パワーコンディショナーと接続の場合  
COMポートに挿入します。

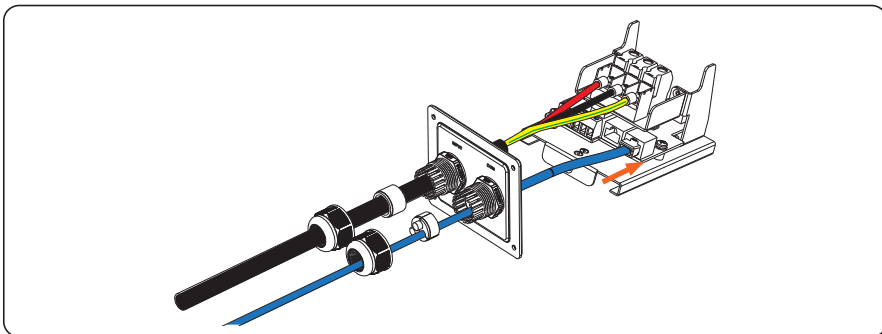


図 5-22 通信ケーブルをCOMポートに挿入する

- » 反対側のRJ45端子は、パワーコンディショナーのRS485ポートに挿入します。

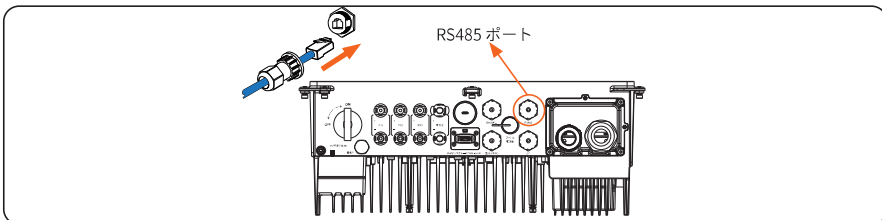


図 5-23 パワーコンディショナー側の接続（例）

※8芯通信ケーブルを使用する場合は、正常に動作するために、必ずパワーコンディショナーアダプタ（白）を使用してください。

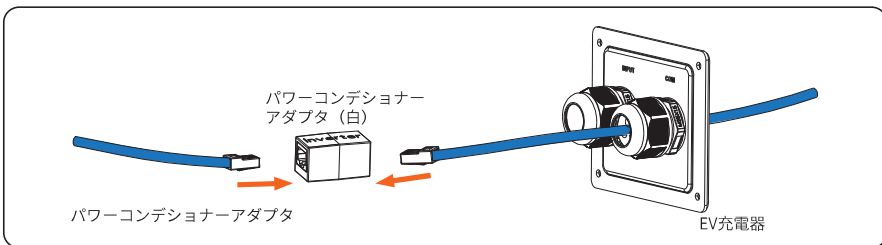


図 5-24 パワーコンディショナーアダプタ（白）接続

- ネットワークとの接続

ネットワーク通信

ネットワーク接続は、Wi-Fi接続が利用できない、または電波が弱い地域のための接続方法です。必要に応じてネットワーク接続の設定をします。  
通信ケーブルをネットワークポートに接続します。

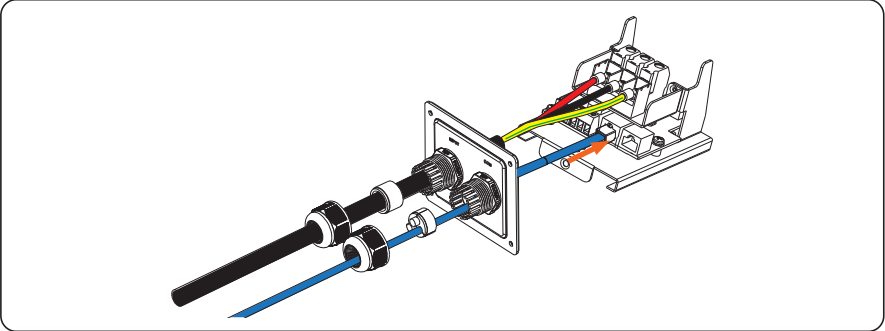


図 5-25 通信ケーブルをネットワークポートに挿入する



- 通信ケーブルは、落雷から保護する必要があります。

Step 12: 端子台のばねを押し上げ端子台を引き込みます。プラスドライバーで皿ネジを締め  
ます。

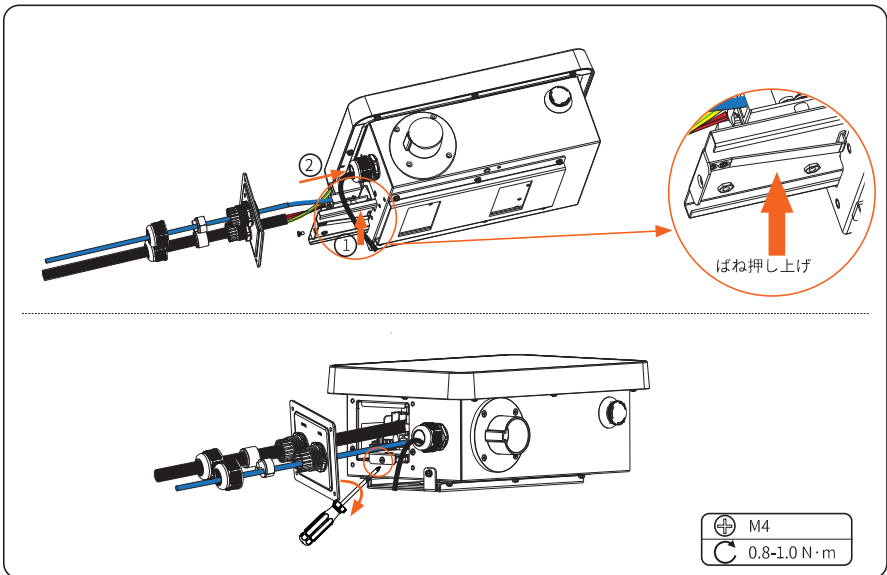


図 5-26 端子台皿ねじ締め



Step 13: 保護カバー、ストッパー、ニップルを取り付け、プラスドライバーでタッピングねじを締めます。次に、ニップルを回して締めます。

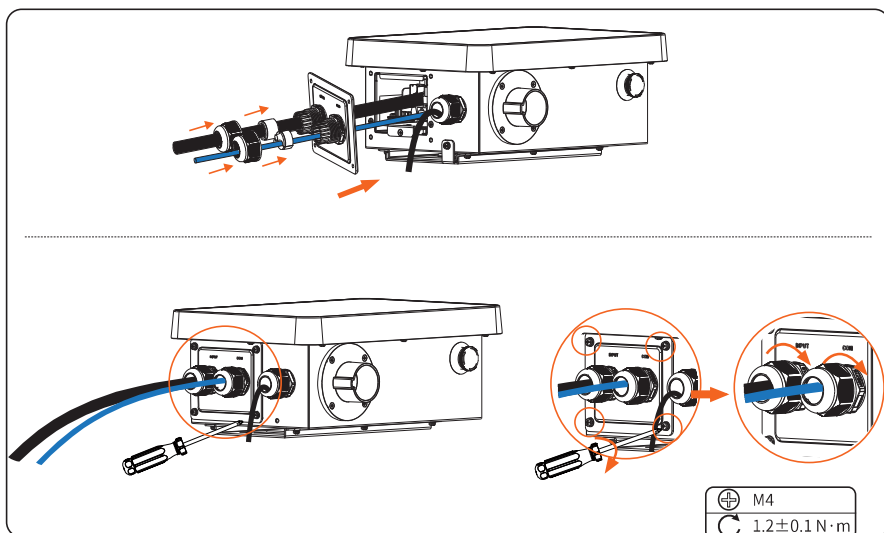


図 5-27 保護カバー締め付け

Step 14: EV充電器をブラケットに引っ掛けて、プラスドライバーでタッピングねじを締めます。

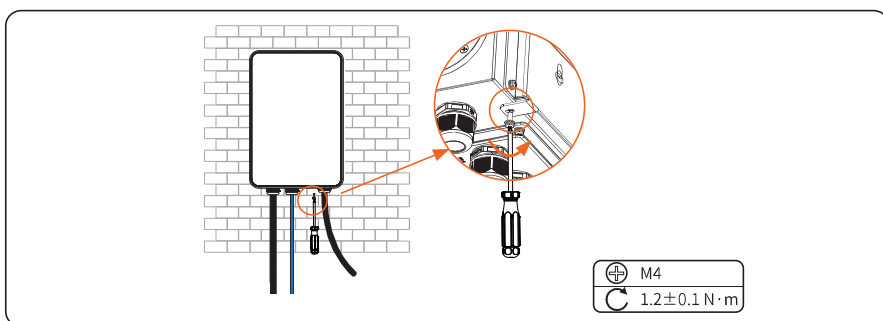


図 5-28 EV充電器固定

Step 15: 充電用コネクタをホルダに差し込み、充電ケーブルをケーブルフックに巻きつけます。

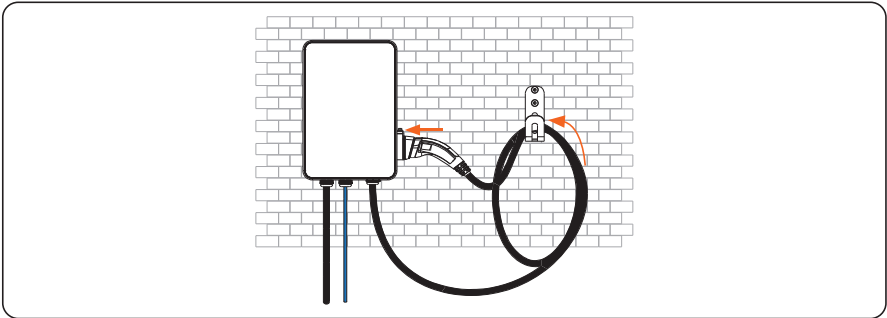


図 5-29 充電コネクタセット

## 6 試運転

---

### 6.1 起動前の確認

下記ご確認の後、充電器の電源を入れてください。

- ① 本体が壁に確実に固定されているか
- ② 電源線が正しく確実に接続されているか
- ③ 通信ケーブルが正しく確実に接続されているか
- ④ 系統の電圧、周波数、その他の要素がEV充電器の動作条件と一致しているか。

### 6.2 起動

Step 1: 専用ブレーカーの電源を入れます。

Step 2: LEDの状態を確認します：電源を入れると、すべてのLEDが3秒間点灯します。その後、システムが自動的にセルフチェックをはじめます。セルフチェック完了後、「利用可」LEDが点灯します。充電コネクタを車両の充電ポートに挿し込むと「準備中」LEDが点灯します。

エラーLEDが点灯している場合は、設置や配線をご確認してください。



- 設置作業すべてが完了してから電源を入れてください。
- EV充電器はEV/PHEVの充電用途以外で使用しないでください。

## 7 SolaX Cloudアプリの登録

本製品をアプリを使用する場合はSolaxCloudアプリが必要です。他のソフトウェアでは使用できません。

SolaX CloudはEV充電器のデータの監視およびリモートで設定を可能にするモニタリングプラットフォームです。EV充電器内蔵のWi-Fi/Lanを通じてSolaX Cloudへ5分おきにデータをアップロードします。パソコンやiOS/Android 端末を利用して、アカウントにログインしていただくことで、リアルタイムで履歴データの閲覧、リモート設定が可能です。

※本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

### ダウンロード

以下の方法を利用して、スマートフォンやタブレットなどでSolaX Cloudアプリをダウンロードしてください。

- APP Store/Google Play で「SolaXCloud」を検索して、アプリをダウンロードします。
- ホームページ(www.solaxcloud.com)画面の左上のQRコードをスキャンします。
- 以下のQR コードをスキャンします。



App Store

Google play

図7-1 SolaX CloudアプリのQRコード

### ログイン

アプリを起動し、アカウントを新規作成した後「ログイン」をタップします。登録後、アプリの案内（底部「サポート」>「ヘルプ」）に従って初期設定（発電所の作成、設備追加、ネット接続など）を完成してください。



図 7-2 アプリ登録画面

## 8 EV充電器のアプリ設定

充電器を追加した後、アプリ底部真ん中のボタンを押し、充電器の操作画面が表示されます。

**Cloud通信状態**  
オンライン  
オフライン

**充電情報**  
現在の充電状態、充電量、電力、期間が表示されます。

**充電器ID**  
▽をタップすると、他の充電器が選択できます。

**充電モード**  
Home（個人用）シーンで、グリーン、エコ、高速モード、停止の切替ができます。  
Standard（業務用）で、起動と停止のみ表示します。

**充電モード機能**  
グリーン、エコモードでは、ブースト設定  
急速、停止モードでは、最大充電電流&スケジュール設定

**充電器設定**

**統計値**  
充電器のID、登録番号、充電量や充電履歴等の詳しい内容が表示されません。  
フィルターで指定した日付の充電量や充電履歴が確認できます。

**デバイスの詳細**

デバイス名: CXXXXXXXXXXXXX オンライン  
シリアルナンバー: CXXXXXXXXXXXXX  
登録番号: SXXXXXXXXXXXXX  
前回の更新: yyyy-MM-dd HH:mm:ss  
エントリー時間: yyyy-MM-dd HH:mm:ss

モニタリングデータの更新間隔: 5分

**充電器電力** yyyy-MM 1日

日付	充電量 (kWh)
13	0.0
14	0.0
15	0.5
16	0.2
17	0.0
18	0.0
19	0.0
20	0.0
21	0.0

**充電履歴**

項目	値
開始時間	yyyy-MM-dd HH:mm:ss
期間	X時間 X時間単位
充電量	XkWh
料金	-

**設定**

- 基本情報 >
- 充電器の設定 >
- 詳細設定 >

図 8-3 「EV充電器」操作画面

## 8.1 充電状態

EV充電器の充電状態は下記の通りです：

表 8-1 充電状態

状態	LEDと説明
利用可	電源が供給されて、EVに差し込んでない時に「利用可」LEDが点灯します。
準備中	充電コネクタを車両の充電ポートに接続すると「準備中」LEDが点灯します。
充電中	充電中に「充電中」LEDが点灯します。充電中断の場合「充電中」LEDが点滅します。
充電終了	充電が終了時に「充電終了」LEDが点灯します。
利用不可	充電コネクタを車に接続しても充電できない時に「利用不可」LEDが点灯します。
通信中	ネットワークサーバーと通信している時に「通信中」LEDが点灯します。
エラー	異常発生時に「エラー」LEDが点灯します。
アップグレード	EV充電器がリモートアップグレードの時に「利用可」、「準備中」、「充電中」、「充電終了」LEDが同時に点滅します。
RFIDカードリライト	RFIDカード書き換えの時に「利用可」、「準備中」、「充電中」、「充電終了」LEDが順次に点灯します。

## 8.2 Home（個人用）の充電モード

グリーン、エコ、高速モードの切り替えや、充電の停止は、操作画面对応するエリアをタップして行います。デフォルトの充電モードは高速モードです。



SolaX社製のパワーコンディショナーと接続することで以下の機能を使用することができます。

### グリーンモード

太陽光で発電したグリーンな電力をより多く使うモードです。充電器の最低起動出力により、太陽光で発電した充電電流を 3A（初期値）と 6A の 2 つのレベルに分けます。

6Aレベルを選択の場合：太陽光で発電した電力をします。電力の購入は行いません。

3Aレベルを選択の場合：太陽光発電電流が 3A を超えると充電しますが、6A未満の場合、電力

の購入を行い充電します。

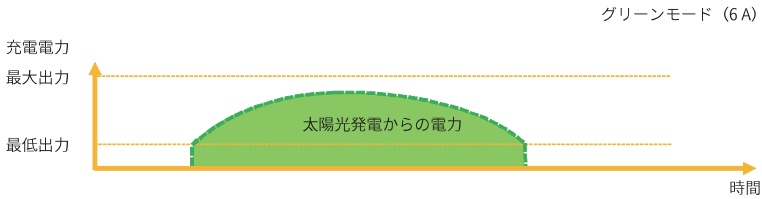


図 8-4 グリーンモード 6Aレベル

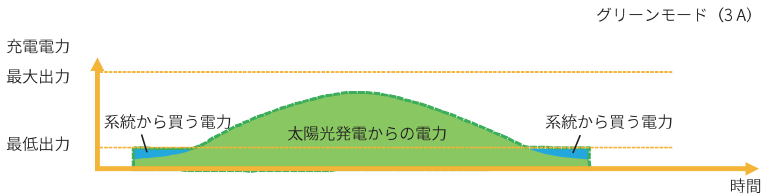


図 8-5 グリーンモード 3Aレベル

※「最低出力」はEV充電器の最低起動充電電力。「最大出力」は最大公称出力電力です。グリーンモードの充電電流レベルを変更する場合は、アプリの「充電器の設定」>「仕事モード設定」>「グリーン」で設定してください。

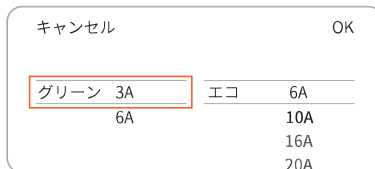


図 8-6 グリーンモード 充電電流変更

### エコモード

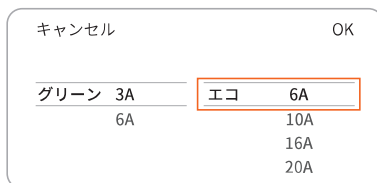
充電器の充電電流を設定することで、電力の購入を抑えることができるモードです。充電電流は6A、10A、16A、20A、25Aの5つのレベルに設定できます。

設定	出力
6A	1.2kW
10A	2.0kW
16A	3.2kW
20A	4.0kW
25A	5.0kW

図 8-7 充電電流の出力値

レベルを変更する場合は、アプリの「充電器の設定」>「仕事モード設定」>「エコ」で設定

してください。



The screenshot shows a settings dialog box with a white background and a thin grey border. At the top left is the text 'キャンセル' (Cancel) and at the top right is 'OK'. Below this, there are two columns of options. The left column has 'グリーン' (Green) and '6A' below it. The right column has 'エコ' (Eco) and '6A', '10A', '16A', and '20A' listed vertically below it. The 'エコ' option is highlighted with a red rectangular border.

図 8-8 エコモード 充電電流変更

### 推奨

グリーンモードやエコモードを利用するにあたって:

- 電気自動車がIEC61851規格に準拠している必要があります。準拠していない場合、EV 充電器は機能しません。

### 高速モード

充電スピードを優先して、最大出力で充電するモードです。



### 8.3 Home（個人用）の充電機能

#### 推奨

- ・ ブースト機能はグリーンモードとエコモードでのみ表示されます。
- ・ 最大充電電流やスケジュール設定機能は高速モードでのみ表示されます。

#### スマートブースト

設定された終了時間の前に目標充電量まで充電する機能です。アプリで充電量（kWh）と終了時間を設定すると、最大出力で充電します。太陽光で発電した電力を優先に使い、不足の分は系統から補います。

例：午前10時前に40KWhに充電すると設定の場合、太陽光で発電した電力は30KWhしかない時、不足の10KWhは系統から最大出力で買電します。

※グリーンモード：太陽光で発電した電力が最低出力以下の時、系統から買電しません。

エコモード：太陽光で発電した電力が最低出力以下の時、系統から最低出力までの買電します。

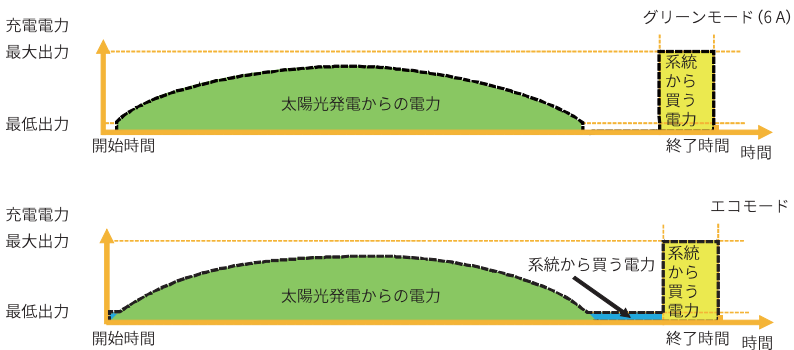


図 8-9 スマートブースト

スマートブーストの設定手順：

- ① 操作画面で、「ブースト設定」をONにします。
- ② 「スマートブースト」をタップします。
- ③ 「充電量」と「終了時間」を設定し、「OK」をタップします。
- ④ チェックマークにチェックを入れます。

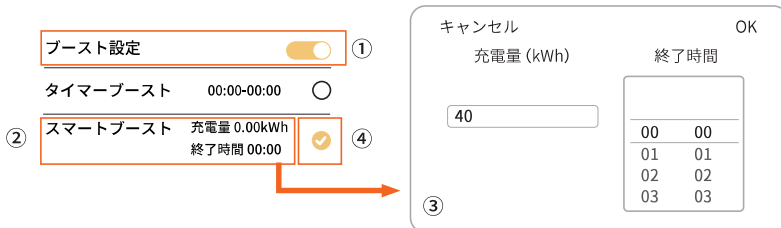


図 8-10 スマートブースト 設定

## タイマーブースト

特定の時間帯で高速充電する機能です。アプリで開始時間と終了時間を設定すると、当該時間帯で最大出力で充電します（この時は高速モードと同じです）。フル充電されると、充電が終了します。

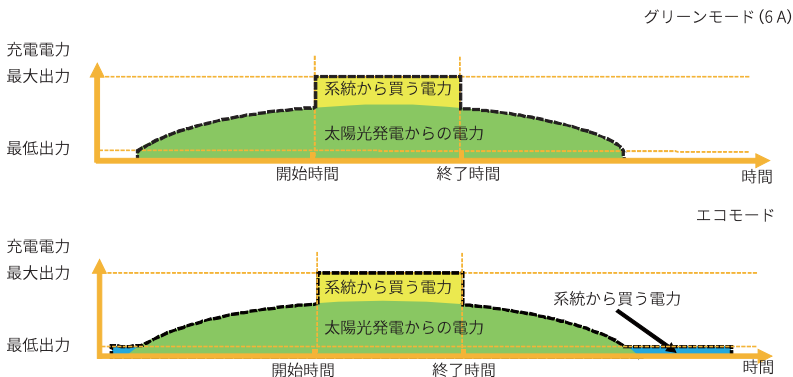


図 8-11 タイマーブースト

タイマーブーストの設定手順：

- ① 操作画面で、「ブースト設定」をONにします。
- ② 「タイマーブースト」をタップします。
- ③ 「開始時間」と「終了時間」を設定し、「OK」をタップします。
- ④ チェックマークにチェックを入れます。

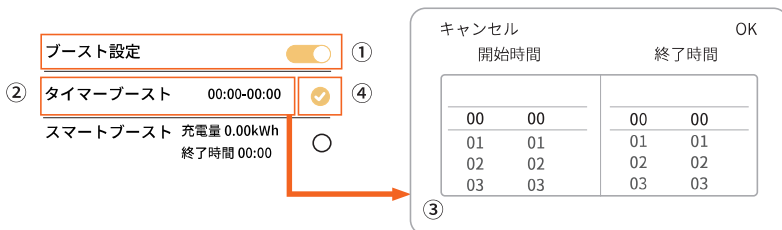


図 8-12 タイマーブースト 設定

## 最大充電電流

- ① 操作画面で、「最大充電電流」をタップします。
- ② スクロールバーを左右に移動し、電流を設定します。「Confirm」をタップします。  
設定範囲：6A～30A



## スケジュール設定

- ① 操作画面で、「スケジュール設定」>「Add Schedule」をタップします。
- ② 開始時間、終了時間、繰り返し頻度、電流（6A～30A）を選択し、「Confirm」をタップします。  
繰り返し頻度は1回だけと週ごとの2種類あります。週では、特定の曜日と複数の曜日を指定することができます。
- ③ 追加されたスケジュールをONにします。アラームアイコンが黄色<sup>③</sup>になると、設定が成功です。

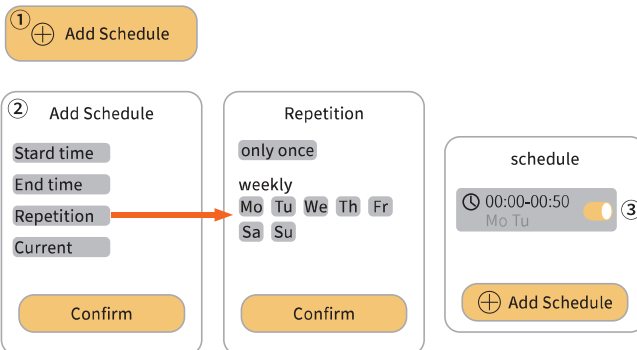



図 8-13

図 8-14 スケジュール設定

## 8.4 基本情報

操作画面の設定ボタンをタップして設定に進みます。設定には基本情報、充電器の設定、詳細設定があります。右の「>」をタップして次の階層に進みます。

基本情報で、「日付と時間」や「タイムゾーン」は自動的に所在地の地域に同期されます。正しくない場合は、手動で調整してください。

基本情報	
充電器ID	CXXXXXXXXXX
日付と時間	yyyy-MM-dd HH:mm
タイムゾーン	(UTC) Coordinated Universal Time
バージョン	V3.32

図 8-15 基本情報画面

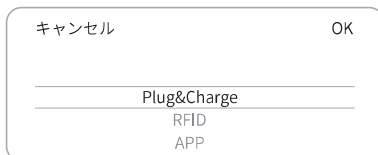
## 8.5 充電器の設定

設定	
起動モード	Plug&Charge
仕事モード設定	グリーン:3A エコ:6A
動的負荷分散	無効化
Modbus 設定	70/9600

図 8-16 充電器の設定画面

### 8.5.1 起動方法

ここでは、EV充電器の起動モードをプラグ&チャージ/カードスワイプ/アプリに設定することができます。デフォルト起動方法が「Plug&Charge」です。



- プラグ&チャージ

充電コネクタを車の充電ポートに挿して充電が開始されます。

- カードスワイプとAPP起動

充電コネクタを車の充電ポートに挿してから、カードリーダー部にカードをタッチまたはアプリの操作画面で充電モード/「起動」を選択すると充電が開始されます。充電が中止される場合は、カードでタッチするか、アプリ操作画面で「停止」をタップします。

## RFIDカードのピン変更

RFIDカードは出荷時に認証されています。「RFID Pin」（パスワード）の初期値は111111になっています。変更したい時は以下の手順に従ってください。

- ① 起動モードで「RFID」を選択するとドロップダウンリストが表示されます。「変更」ボタンをタップします。
- ② 新しいPin（6桁）を入力して「保存」ボタンをタップします。
- ③ 「カード操作」の「リライト」ボタンをタップします。カードが書き換えられると、EV充電器の上部4つの動作状態表示灯が順番に点灯します。
- ④ カードリーダー部にカードをタッチします。書き換えが成功すると、充電器からピープ音が鳴ります。
- ⑤ 「完了」をタップして操作を終了します。

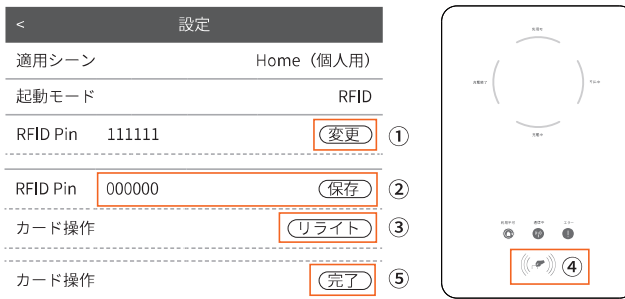


図 8-17 RFIDカードのピン変更

### 推奨

- Standard（業務用）シーンでは同梱のRFIDカードが無効となります。

### 8.5.2 スマート動的負荷分散<sup>※</sup>

本機能を使用するにはCTの取付が必要です。

充電中、電気機器の合計消費電力が主要ブレーカの総充電電力内に収まるように充電器の充電電流をリアルタイムで制御する機能です。

スマート動的負荷分散を利用する場合は、「動的負荷分散」>「有効化」で設定してください。有効値を入力して、「OK」をタップします。

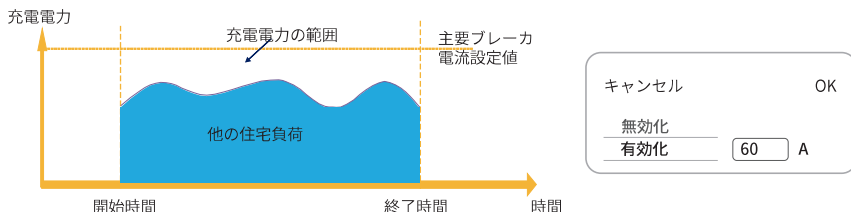


図 8-18 動的負荷分散 設定

主要ブレーカの電流が設定値に到達すると、スマート動的負荷分散制御により、充電電流が減少になり、ブレーカの電流が設定値から5Aを引いた値になります。

### 8.5.3 Modbus設定

EV充電器がDataHubと接続する場合または実際の状況に応じてModbus設定が必要な場合は、「充電器の設定」>「Modbus設定」で設定してください。

図 8-19 は、Modbus設定の画面のスクリーンショットです。画面には「キャンセル」と「OK」のボタンがあり、「アドレス」と「ModBus 485 ボーレート」の項目があります。「アドレス」の値として「70」が設定されており、「ModBus 485 ボーレート」の値として「9600」が設定されています。他の可能なボーレート値として「14400」、「19200」、「38400」もリストアップされています。

図 8-19 Modbus設定

複数台EV充電器設置の場合、「アドレス」（初期値 70）と「Modbus 485ボーレート」（初期値 9600）を変更してください。同じシステム内の異なるEV充電器のアドレスは異なります。

#### 推奨

- 「アドレス」は、複数台のEV充電器を並行に使用する場合に設定してください。1台設置の場合は変更する必要はありません。

## 8.6 詳細設定

詳細設定ではパスワード（施工店のみに提示）が必要です。

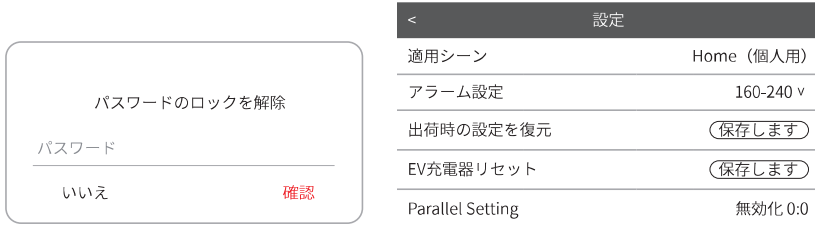


図 8-20 詳細設定画面

### 8.6.1 適用シーン

適用シーンを変える時「適用シーン」>指定のシーン>「確認」で設定してください。



### 8.6.2 電圧範囲設定（アラーム設定）

「アラーム設定」を選択し、ドロップダウンリストが表示されます。電圧変動の範囲で支障なく運用できるように、「過電圧制限」と「低電圧制限」の数値を設定し、「保存します」をタップします。



図 8-21 アラーム設定

### 8.6.3 設定復元とリセット

「出荷時の設定を復元」の右側の「保存します」をタップすると、アプリの設定は初期値に戻します。

「EV充電器リセット」はEV充電器を再起動します。「保存します」をタップすると、すべてのLEDが同時に点灯します。

※ 「Standard（業務用）」の場合、「出荷時の設定を復元」は行わないでください。



## 9 こんな時は

### 9.1 保管

EV充電器の輸送と保管は下記の条件を満たす必要があります。

- EV充電器は室内に保管してください。
- 保管温度は-30°Cから+60°Cの間、保管湿度は5%から95%の間にしてください。
- EV充電器の転倒や破損を防ぐため、カートンの注意書きに従って積み重ねてください。逆さまに置かないでください。

### 9.2 電源を切る

専用ブレーカーの電源を切ります。



- EV充電器の電源が切れた後も電気と熱が残っており、感電ややけどの原因となる恐れがあります。EV充電器の電源を切った後、5分経過してから操作を開始してください。

### 9.3 トラブルシューティング

異常が発生すると、エラーLED（赤）が点灯します。LEDの表示内容をご確認の上、対処方法をお試しください。確認の結果、異常がある場合は分岐ブレーカーをOFFにして電源を切り、SolaXカスタマーサービスまでご連絡ください（設備の型式、製造番号、エラーコード、詳細状態をお知らせください）。

エラーコード	エラー内容	対処方法
IE:0x00000001	EmStop_Fault	非常停止エラー <ul style="list-style-type: none"><li>• 非常停止ボタンを復帰してください；</li><li>• 設置業者にご連絡してください。</li></ul>
IE:0x00000002	OverCurr_Fault	過電流エラー <ul style="list-style-type: none"><li>• 車両から充電コネクタを取り外してください；</li><li>• エラーLEDが消灯の後、充電コネクタを挿し直し、再度操作を行ってください；</li><li>• 設置業者にご連絡してください。</li></ul>

エラーコード	エラー内容	対処方法
IE:0x00000004	OverTemp_Fault	<p>過熱エラー</p> <p>車両から充電コネクタを取り外してください；</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エラーLEDが消灯の後、充電コネクタを挿し直し、再度操作を行ってください；</li> <li>エラーLEDが消灯しない場合、設置状態を確認してください。製品が冷えるまでしばらくお待ちください。エラーLEDが消灯の後、充電コネクタを挿し直し、再度操作を行ってください；</li> <li>設置業者にご連絡してください。</li> </ul>
IE:0x00000008	PEGround_Fault	<p>PE接地エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両から充電コネクタを取り外してください；</li> <li>エラーLEDが消灯の場合、再度操作を行ってください；</li> <li>エラーLEDが消灯しない場合、電源線に損傷がないことを確認してください；</li> <li>設置業者にご連絡してください。</li> </ul>
IE:0x00000010	OverLeakCurr_Fault	<p>6mA漏れ電流エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両から充電コネクタを取り外してください；</li> <li>EV充電器の電源を切って、系統の状態が正常かどうかをチェックしてください；</li> <li>充電器を再起動して充電をしてください；</li> <li>設置業者にご連絡してください。</li> </ul>
IE:0x00000020	PELeakCurr_Fault	<p>PE 漏れ電流エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IE:0x00000010の対処方法を参照してください。</li> </ul>
IE:0x00000040	OverLoad_Fault	<p>過負荷エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両から充電コネクタを取り外してください；</li> <li>エラーLEDが消灯の後、充電コネクタを挿し直し、再度操作を行ってください；</li> <li>エラーLEDが消灯しない場合は、EV充電器の状態を確認してください；</li> <li>設置業者にご連絡してください。</li> </ul>

エラーコード	エラー内容	対処方法
IE:0x00000100	OverVoltL1_Fault	<p>L1相過電圧エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 系統電圧が使用範囲内であることを確認してください；</li> <li>• エラーLEDが消灯の場合は、再度充電を行ってください；</li> <li>• エラーLEDが消灯しない場合は、「過電圧制限」の値を適切な値に設定します。設定後ブザーが鳴ります；</li> <li>• エラーLEDが消灯の場合は、再度充電を行ってください</li> <li>• 設置業者にご連絡してください。</li> </ul>
IE:0x00000200	UnderVoltL1_Fault	<p>L1相低電圧エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 系統電圧が使用範囲内であることを確認してください；</li> <li>• エラーLEDが消灯の場合は、再度充電を行ってください；</li> <li>• エラーLEDが消灯しない場合は、「低電圧制限」の値を適切な値に設定します。設定後ブザーが鳴ります；</li> <li>• エラーLEDが消灯の場合は、再度充電を行ってください；</li> <li>• 設置業者にご連絡してください。</li> </ul>
IE:0x00000400	OverVoltL2_Fault	<p>L2相過電圧エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IE:0x00000100の対処方法を参照してください。</li> </ul>
IE:0x00000800	UnderVoltL2_Fault	<p>L2相低電圧エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IE:0x00000200の対処方法を参照してください。</li> </ul>
IE:0x00004000	MeterCom_Fault	<p>メーター通信エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• EV充電器の電源を切り、系統状態を確認してください；</li> <li>• 再起動して充電を試してください；</li> <li>• 設置業者にご連絡してください。</li> </ul>
IE:0x00008000	485Com_Fault	<p>RS485 通信エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 通信ケーブルに損傷がないことを確認してください；</li> <li>• 設置業者にご連絡してください。</li> </ul>
IE:0x00010000	PowerSelect_Fault	<p>出力電圧エラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 車両から充電コネクタを取り外してください；</li> <li>• EV充電器を再起動して充電を行ってください；</li> <li>• 設置業者にご連絡してください。</li> </ul>

こんな時は

---

エラーコード	エラー内容	対処方法
IE:0x00020000	CPVolt_Fault	CP 電圧エラー • IE:0x00010000の対処方法を参照してください。
IE:0x00080000	MeterType_Fault	メータータイプエラー • 推奨されるメーターを交換してください； • 設置業者にご連絡してください。
IE:0x00100000	OpenCharger_Fault	リミットスイッチエラー • 設置業者にご連絡してください。

# 10 廃棄

---

## 10.1 製品の分解



- EV充電器を分解する際は、以下の手順を厳守してください。
- 分解時には絶縁工具を使用し、保護具を着用してください。

- Step 1: 専用ブレーカーをオフにして、EV充電器を系統またはパワーコンディショナーから切り離します。
- Step 2: EV充電器内部のコンデンサを完全に放電させるため、少なくとも5分間待ちます。
- Step 3: EV充電器の右下にあるタッピングネジを取り外します。
- Step 4: EV充電器をブラケットから取り外します。
- Step 5: 保護カバーを取り外します。
- Step 6: 皿ねじを緩んで、端子台を引き出します。
- Step 7: 電源線と通信ケーブルを取り外します。
- Step 8: ブラケットとケーブルフックを取り外します。

## 10.2 梱包

- 可能であれば、出荷時の段ボールで梱包してください。
- または同等の梱包（次の要件を満たす）を使用してください：
  - » 製品重量に耐えられるもの
  - » 取っ手付きのもの
  - » しっかり縛れるもの

## 10.3 廃棄

廃棄する場合は、お住まいの地域の廃棄物処理規則に従って実施してください。

# 11 仕様

- 一般仕様

モデル	QEC-F-01
定格交流入力	
電気方式	単相3線式 L1+L2+PE
電圧 [V]	200
周波数 [Hz]	50/60 ; ±5
定格交流出力	
電圧 [V]	200
電流 [A]	30
電力 [kW]	6
インターフェース	
LAN	あり
RS485	あり
RFID 周波数 [MHz]	13.56
OCPP 1.6 (JSON)	あり
CTクランプ	×2
筐体材質	プラスチック/金属
設置方法	壁面取付 (オプション: 自立スタンド取付)
壁掛け用ブラケット	あり
充電コンセントタイプ	プラグタイプ (充電ケーブル付き)
充電ケーブル長さ [m]	7.5
使用温度範囲 [°C]	-30 ~ +50
使用湿度範囲	5%~95% 結露なし
使用標高 [m]	<2000
防水防塵レベル	IP65
耐衝撃性	IK08
IEC電源保護クラス	クラス I
設置場所	室内/室外
冷却方式	自然空冷
寸法 (W×H×D) [mm]	265×370×155
重量 [kg]	8

型式	QEC-F-01
通信	
通信モード1	Wi-Fi
EIRP	17.41 dBm (平均最大値)
周波数帯	2412~2484 MHz
アンテナ利得	4 dBi
アンテナタイプ	IPEX
ワイヤレスモード	802.11 b/g/n
通信モード2	LAN
イーサネット	10/100 M (DHCP)

- 安全 & 保護

型式	QEC-F-01
保護機能	
過電圧・不足電圧保護	あり
過負荷保護	あり
漏電保護	電流障害監視 (30mA AC 100ms) ※
接地保護	あり
サージ保護	あり
加熱保護	あり
安全規格	PSE、JARI (予定取得)
保証期間	1年

※ 製品の設置、配線の接続、および取扱いについては、法律、規制を遵守してください。

必ずお読みください

## 保証とアフターサービス

保証書は、必ず「施工完了日、シリアルNo、お客様情報、お買い上げの販売店情報」の全ての記入をお確かめのうえ、弊社に送付ください。また、保証書原本はお客様にて大切に保管してください。

### ● 保証期間は、ご購入日（施工完了日）より1年間です。

※お買い上げの販売店への納品後から1年以内の施工を条件とし、施工完了日から1年間を《無償修理規定》にもとづいて保証いたします。

### ■ ご不明な点や修理に関するご相談は

ご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問合せください。  
修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」に連絡しご依頼ください。

### ■ 修理を依頼されるときは

「お困りのときは」に従って調べていただき、異常に気がついたときには直ちにご使用を中止し、専用プレーカーを切り、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」に連絡し、修理をご依頼ください。

### ● 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

### ● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または「ご相談窓口」に連絡し、修理可能と判断した場合は、ご相談の上、修理をさせていただきます。（修理は有償になります）

### ■ ご転居されるときは

事前にお買い上げの販売店にご相談ください。  
ご相談や修理はお買い上げの販売店または下記「ご相談窓口」へ

**ご相談や修理はお買い上げの販売店または下記ご相談窓口へ**

### 九電テクノシステムズ株式会社

〒815-0031 福岡県福岡市南区清水4-19-18

本店 ソリューション営業本部 産業営業部

TEL 092-551-7120

FAX 092-551-8693

受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日除く）



## 保証書

品名	EV/PHEV用ケーブル付き普通充電器
型式	QEC-F-01
ご購入日（施工完了日）	年 月 日
シリアルNo.	
保証期間	ご購入日（施工完了日）より1年間（※1）
お客様	ご住所： お名前： フリガナ： 電話番号：
	住所： お買い上げの販売店名： 電話番号：

※1：お買い上げの販売店に納品後から1年以内の施工が条件となります。

※2：本保証書は、次項の《無償修理規定》に準じたものとなります。

※3：保証とアフターサービスについては前項をご覧ください。

### 《無償修理規定》

- 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で装置が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。
  - お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等で生じた故障および損傷
  - 風水害、地震、火災、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、動植物等の侵入異常電圧や指定外の電源使用等による故障および損傷
  - 接続している他の機器に起因して、本製品に故障を生じた場合
  - 説明書等の注意書きに記載の使用方法および注意に反するお取り扱いによって発生した故障の場合
  - 当社指定のサービス部門以外での修理および改造された場合
  - 正常なご使用でも消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合の交換
  - 動物の排泄物や異物等の付着により発生した変色や腐食等の損傷および故障
  - 塗装面やメッキ面の自然退色
- この保証サービスは日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※ 本書は、明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものです。お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※ 保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

### 《重要》

本保証書は、弊社が各種サービスを行う上で、必要となります。

お買い上げの販売店様、または施工業者様は、ご購入日（施工完了日）欄に施工完了日をご記入ください。

また、お客様のご住所、お名前、電話番号をご記入し、弊社宛にコピーの郵送またはFAXで送付の上、保証書原本をお客様にお渡しください。

<販売元> 九電テクノシステムズ株式会社

〒815-0031 福岡県福岡市南区清水4-19-18

本店 ソリューション営業本部 産業営業部

TEL 092-551-7120

FAX 092-551-8693

<製造元> SolaX Power







**Kyuden Technosystems Corporation**

**ADD.:** 4-19-18, Shimizu, Fukuoka Shi Minami Ku, Fukuoka Ken, 815-0031, Japan

**TEL:** 092-551-1731 **FAX:** 092-551-2545

**Web:** <https://www.q-tecno.co.jp/>

